

平成24年度予算編成方針について

I 平成24年度収支不足額(見込み) 1,183億円

〔23年度予算編成方針策定時(同時点) : 1,025億円〕

- ◆ 平成24年度予算編成においては、歳入面では、税制改正による制度的な影響で県税収入に一定の増加が期待できる。しかしながら、昨年度に引き続き、政府の財政運営戦略において、地方の一般財源の総額は今年度と実質的に同水準とされていることから、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税の減が見込まれる。
- ◆ 一方、歳出面では、高齢化等に伴う社会保障関係経費や県債の償還などの義務的経費の増加が避けられず、財政状況は依然として厳しい状況が続いている。
- ◆ 今回の収支試算は、歳入、歳出とも一定の前提に基づいて推計したものであり、最終的な予算の姿となるものではない。

II 今後の予算編成における取組

11月からの予算編成過程では、「埼玉から日本を元気に」をテーマとする。国政が停滞する中、今まさに地方こそが自立自尊の精神で、一つの光明、一つのモデルを打ち出すことで日本全体を一点突破的に変えていくことを目指し、下記の基本的な考え方を定めた。

【基本方針】

1 「日本再生・埼玉イニシアティブ」の着実な実行

本県経済を新たな発展経路に乗せ持続的成長を続けるため、県に求められる政策へ集中的に投資する。

2 ゼロベースでの事業目的の設定

全ての事務事業について、原点に立ち返り、目的の設定を図ったうえで、幅広に対応策を検討する。

3 財政の健全性堅持

県債残高の適切な管理や事務事業の見直しによる徹底的なコスト縮減に努め、財政収支の改善を進める。